
THROTTLE CONTROLLER

PERFORMANCE & ECO.

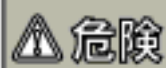
INSTALLATION MANUAL



BLITZ_AG

— 安全上のご注意 —

製品を安全にご使用いただくために『安全上のご注意』を良くお読みになってください。
表示項目の説明（シグナルワードとその意味！）



危険

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

□必ずお読みになり、よくご理解ください。

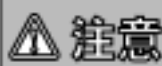
- ・本製品は純正の電子制御スロットルの信号を制御し実際に運転者がアクセルを踏み込んだ以上にスロットルを開ける事で体感的なパワーやスタートダッシュの軽快感などが得られますが実際の最大出力が向上するものではありません。また、体感的な部分には個人差がありますことをご了承ください。
- ・この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けないでください。
運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- ・本製品は、車両電源がDC12V車で車体（ボディ）アースの車両専用です。
DC24V又は12V・24V兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。
- ・コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。また、製品の故障の原因となります。
- ・本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。
事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- ・本製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行ってください。

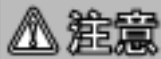


注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

・液晶表示画面について

偏光サングラスを通して液晶表示画面を見ると、見る角度によっては画面が暗くなったり、歪んで見える事がありますのでご注意ください。

**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・本製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。間違った装着や使用方法により車載装備品及びエンジン破損につながる恐れがあります。
- ・本製品は精密部品です。装着前に落下させたり装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良を起こし、車載を破損する恐れがあります。
- ・液晶表示本体を長時間高温になる場所に放置しないでください。
60°C以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では液晶の素子が破壊され、黒くなる事があります。(冷蔵庫などで冷却すると復帰する場合があります)
- ・本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。
事故・火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせていただきます。
- ・高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。
感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。
- ・取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- ・本製品は純正車両を前提に企画されております。
純正以外のパーツを取り付けている場合は、本製品が正常に作動しなかったり、本製品および車両に不具合が出たりする可能性があります。



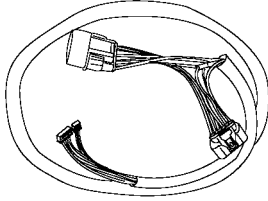

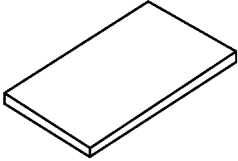
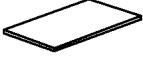

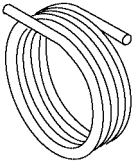
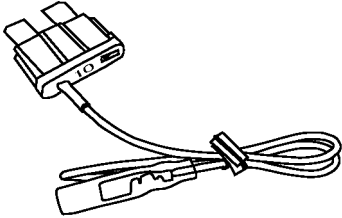
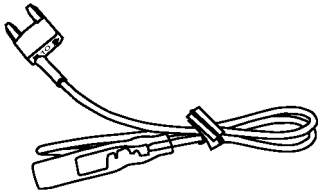

**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・運転者は走行中に本製品を操作しないでください。
運転の妨げになり事故の原因になるなど大変危険です。
- ・コントローラーや本体の装着場所は運転の妨げにならない場所へ固定してください。
アクセルセンサー付近の配線処理などは特に注意しないと突然のエンジン不調やアクセル操作の邪魔になるなど危険です。
- ・本製品は純正電子スロットルの制御を目的に製作されていますので配線の接続方法ならびに使用方法を間違えと車両側の不調・破損・事故など致命的な問題が発生する恐れがあります。
接続取り付けに関しては必ず専門の業者にて行うようお願いいたします。ご自身で取り付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、慎重に作業をしてください。
- ・走行中に車載及び製品より異音・振動・異臭等の異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して専門業者にて点検・整備を行ってください。
修理等に関してはお客様ご自身で対処すると、怪我などの恐れがあり危険です。必ずプロの知識を持った専門業者へ依頼をしてください。
- ・本製品の装着により製品、及び車載本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。
そのままの状態で行くと、予期せぬトラブルを誘発するばかりではなく、事故を招く可能性があります。
- ・本製品の分解や改造は一切行わないでください。
車両破損・事故につながるだけでなく生命の危機に陥る恐れもあり危険です。また、そのような場合でも弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。

パーツリスト

(製品装着前に必ずご確認願います。)

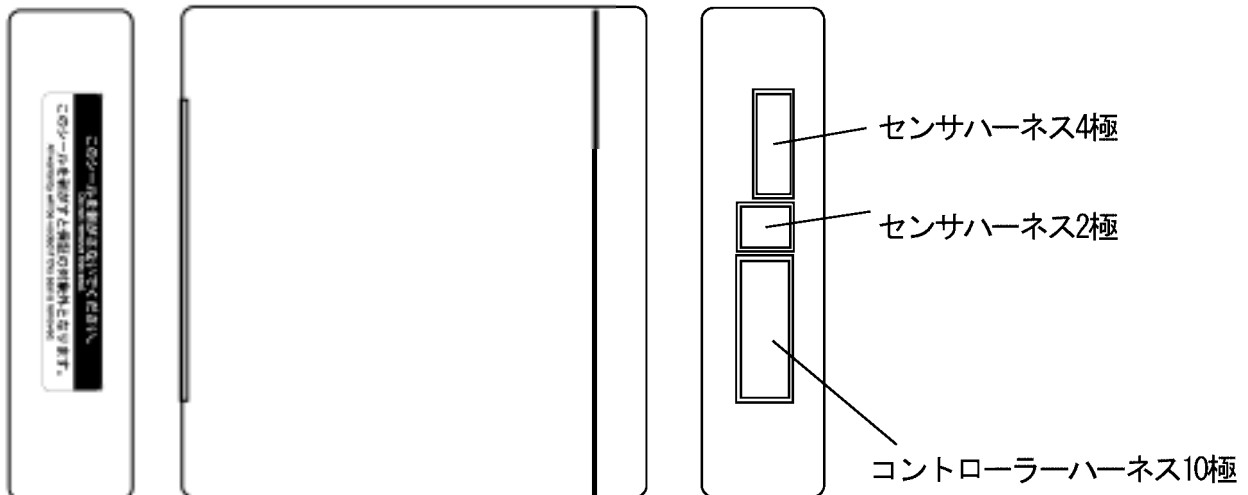
							
コントローラー	1	本体ユニット	1	センサハーネス	1	スプライス	1
							
両面テープ 大	1	両面テープ 小	1	タイラップ	4	リバースキャンセルハーネス	1
							
平型ヒューズ電源	1	ミニ平型ヒューズ電源	1	取扱説明書・保証書	1		

各部の名称と機能

コントローラー:



本体ユニット:



－ 取り付け手順と方法 －

※本製品はDC 12V車両専用です。DC 24V車や12V仕様車以外の車両には取り付けを行わないでください。

火災や車両破損の原因となり大変危険です。

■取り付け上のご注意

※電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には慎重に作業をおこなってください。

※接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェック点灯等の状況が出てしまいます。

この場合専用の機器しかエンジンチェックの点灯は消せないことがあります。十分注意して作業をおこなってください。

※取り付け作業の際は必ずキースイッチを抜いて数分間は作業を行わないでください。中には5分以上電源がoffにならない車両もあります。また、スマートエントリーシステムなどの場合はキーを認識しない場所に離して作業してください。

車両側がキーの存在を認識して自動的に電源が入り、そのまま作業をしてセンサーコネクタを抜くとダイアグにエラーが入りエンジンがフェールセーフモードに入ってしまう恐れがあります。

※車両によっては専用の故障診断機を使用しなければエラーコードが解除されない場合がありますので十分注意してください。



この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・取り付け作業は基本的にバッテリーを外さずに行ってください。バッテリーを外した場合にアイドリング学習などが必要になる場合があります。
- ・本作業は精密電子部品である電子制御スロットルの制御にかかわる部分です。接続位置や接触、逆挿し、接触不良等には十分注意し慎重に行ってください。
- ・接触不良や間違った接続をした場合、正常にエンジンが吹け上がらない、エンジンチェックランプの点灯などの症状が発生します。この場合も前述同様専用の故障診断機を使用しなければ消灯させることさえできない場合がありますので十分注意しよく理解した上で作業を行ってください。

(1) リバースキャンセルハーネスのコネクタ接続

リバースキャンセルハーネスをコントローラー10極コネクタへ取り付けてください。

- ・下図に従い右端C部10番目のコネクタ空きスロットへ挿し込んでください。



コネクタの配線は図左端より

赤、黒、黄、橙、茶、黄緑、白（色）となっています。

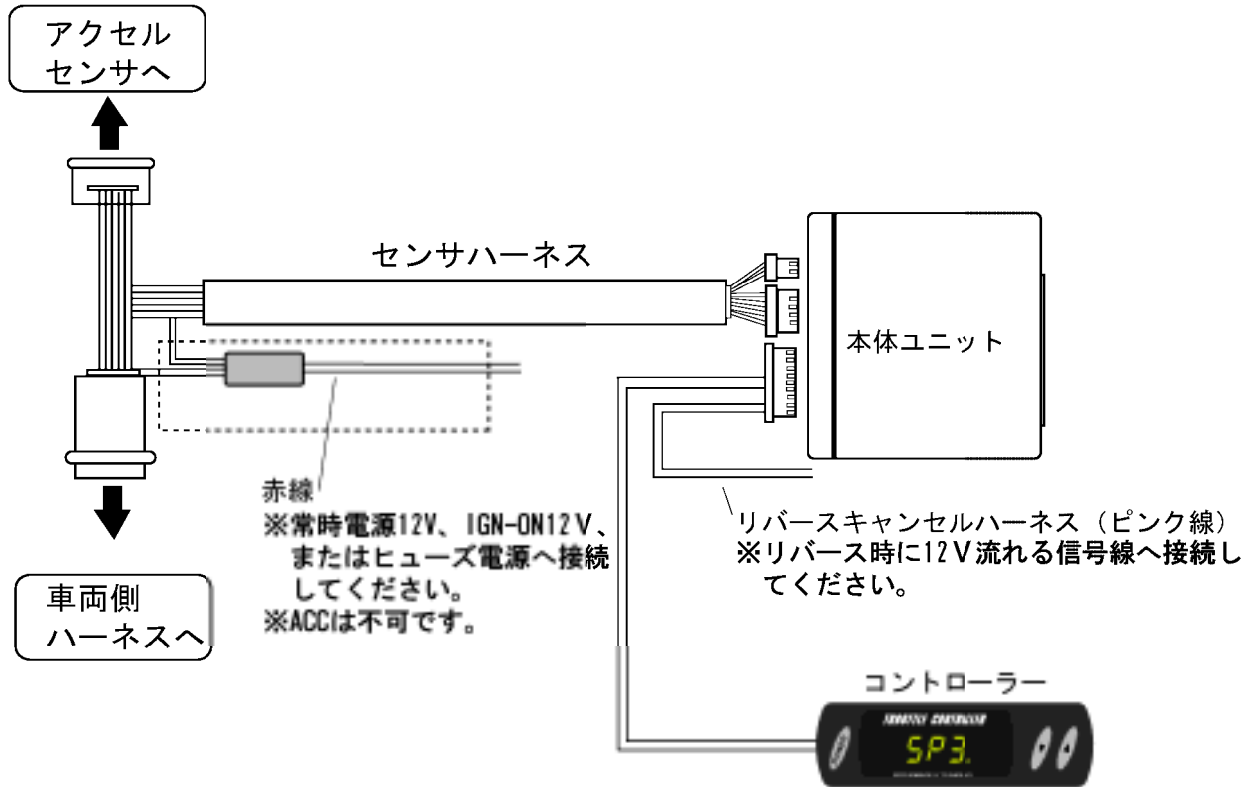
リバースキャンセルハーネス（ピンク線）はバックランプSWに接続します。すべての接続作業が終了するまで10極コネクタを本体に取り付けしないでください。

※爪がロックするまでしっかりと挿し込みガタが無いか確認してください。

※リバースキャンセルハーネスは、車両バック時に一時的に電子制御スロットルの制御を止めてノーマル復帰させることができるハーネスです。

(2) 配線図

ユニット、コントローラ、センサーハーネスを次のように接続します。

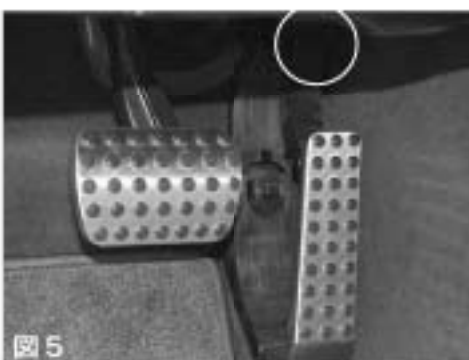
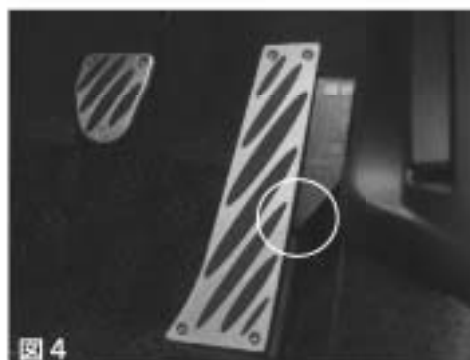
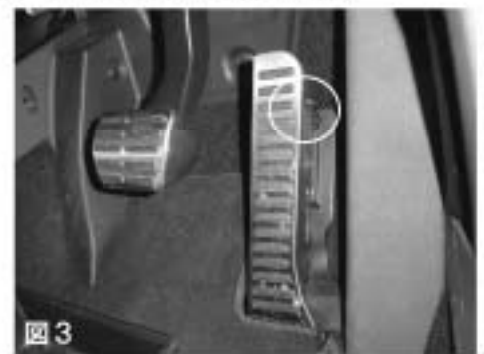


- ・専用ハーネスの2極と4極コネクタを本体へ確実に差し込んでください。
 - ・コントローラからの10極コネクタを本体に確実に差し込んでください。
 - ・運転の操作の妨げにならぬよう、本体を固定し配線をまとめてください。
本体は水、熱のかからない場所に固定してください。
- 注意！ 配線がアクセルペダルと接触すると大変危険です。細心の注意をはらってください。

(3) 運転席足元アクセルポジションセンサーの位置を確認します。

- ・アクセルポジションセンサーは通常アクセルペダルの根元付近にあります。
- ・カバーやアクセルペダルの裏などで隠れていて直接目視できない場合がありますので注意してください。

〈例〉アクセルポジションセンサーは下図の白丸部のアクセルペダル裏側にあります。



- 図1 : BMW MINI MF16S
- 図2 : BMW MINI RE16
- 図3 : VW Golf V
- 図4 : BMW 135i
- 図5 : Benz SLK350

※同梱のハーネスに付いているコネクタの形状と見比べて違う場合は装着できません。
形状が異なっている場合は無理に装着しないでください。

(4) アクセルポジションセンサーのコネクタを取り外します。

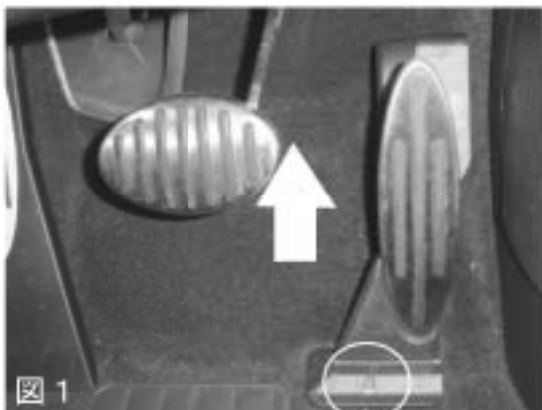
- ・アクセルペダルを取り外します。
- ・コネクタのつまみを押しながら、取り外します。

※アクセルペダルを取り外さないと、コネクタが外れない場合もあります。破損の原因になりますので、無理に外そうとしないでください。

※初めてコネクタを脱着する場合、非常に固く外れない場合があります。ドライヤーなどで適度に温めてやわらかくしてから外してください。工具などで無理に外そうとすると破損する恐れがありますのでお止めください。

〈例〉アクセルペダルの外し方

- ・白丸部の丸いカバーを取り外し、ボルト・ナットを取り外します。(図1、図3参照)
- ・アクセルペダルを矢印方向に動かすと、ペダルが取り外せます。(図1、図3参照)



- ・図5 白丸部のアクセルペダル側面のツメをードライバで床方向に押しながら、アクセルペダルを矢印方向に押してください。
- ・左にある程度動いたら、再度、図5のツメを床方向に押しながら、アクセルペダルを矢印方向に動かすと、ペダルが取り外せます。(図6参照)



※ードライバで押す際は、先端を布などで包み、車両側に傷がつかないように注意してください。

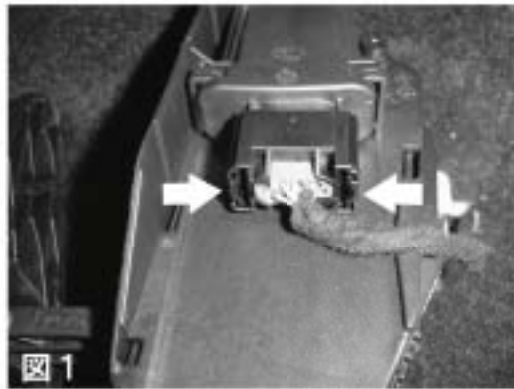
図1、図2 : BMW MINI MF16S/BMW 135i

図3、図4 : Benz SLK350

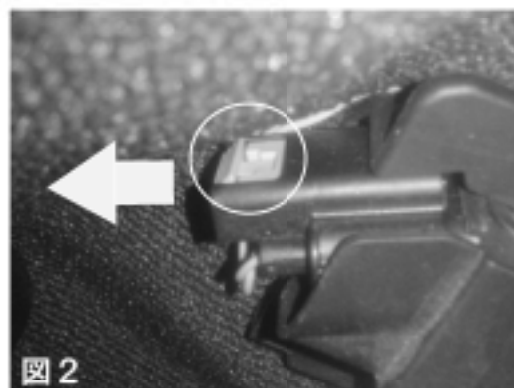
図5、図6 : BMW MINI RE16

〈例〉コネクタの外し方

- ・つまみを内側に押しながら、引き抜きます。（図1参照）



- ・車両に付いているコネクタの白丸部の灰色のつまみを車両側に押しながら矢印方向に引き抜きます。（図2参照）



- ・車両に付いているコネクタの赤色のつまみを矢印方向に引っ張ってください。（図3参照）
- ・赤色のつまみが出ている事を確認し、矢印方向に引き抜いてください。（図4参照）



図1 : BMW MINI MF16S/BMW MINI RE16/BMW 135i

図2 : Audi等

図3、図4 : VW Golf GTI

- (5) 専用センサコネクタを取り付けます。
センサー側、車両側、それぞれコネクタを装着してください。

〈例〉コネクタの接続

- ・コーションステッカーが貼ってある面と車両側コネクタ接続部の番号1、2、3の方向を合わせて装着してください。(図1参照)
- ・装着後必ずビニールテープ等で固定してください。(図2、図4参照)

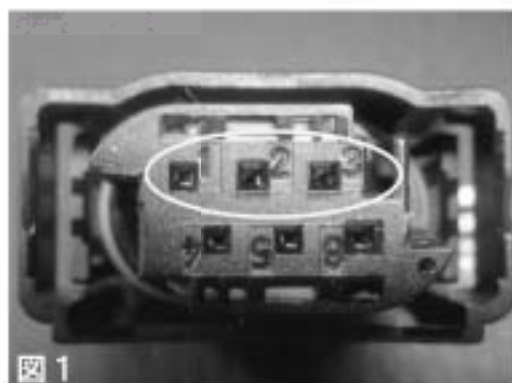


図1

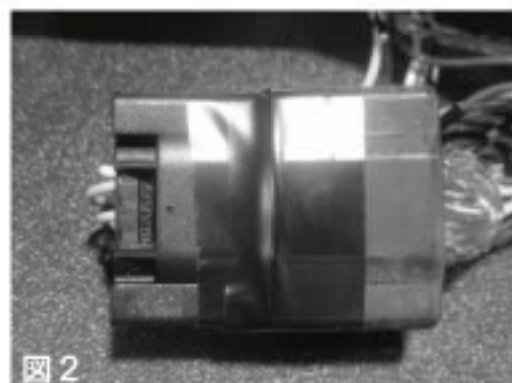


図2

- ・コーションステッカーが貼ってある面と車両側コネクタのロック部分(ツメ)を合わせて装着してください。(図3参照)



図3



図4

- ・車両コネクタ1番とハーネスの黄色シールの位置を合わせて接続してください。(図5参照)
- ・車両側コネクタに番号がない場合は、車両コネクタの凸が出ていない面を上にした時に向かって右側が1番になります。(図6白丸部)

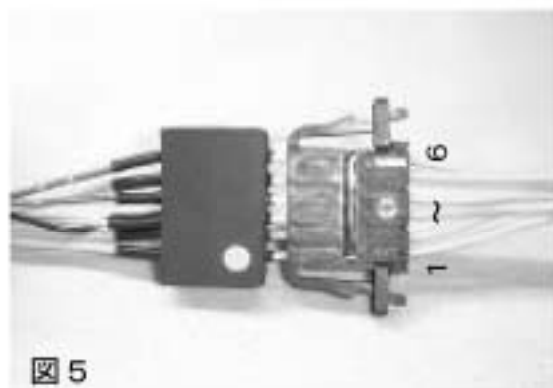


図5

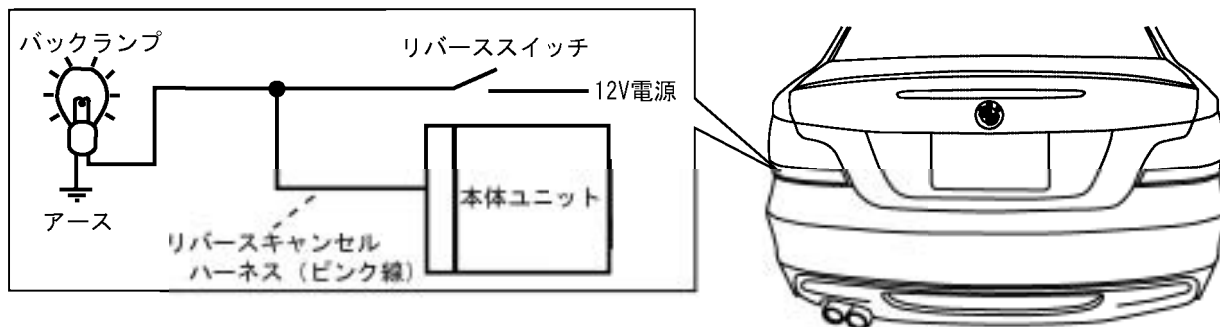


図6

※コネクタの表裏を間違えて装着するとセンサー破損や本体ユニット破損、エンジンチェックランプ点灯など様々な不具合が起こる恐れがあります。間違いの無いように作業を行ってください。

(7) リバースキャンセルハーネスの接続

- ・車両の整備書などで、ギヤをバックに入れた際に12Vを出力する線に、(1)で接続したリバースキャンセルハーネスの片側を同梱しているスプライスを使用し、下図を参照し、接続してください。



- ・スプライスは下図の様に接続し、圧着ペンチなどで、しっかりとカシメてください。
- ・カシメた後は、金属部分が剥き出しになっている為、ビニールテープ等の絶縁出来るものでしっかりと絶縁してください。

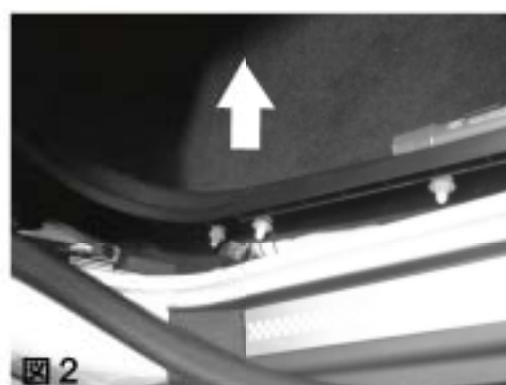


- ※カシメたリバースキャンセルハーネスを軽く引っ張り、しっかりとカシメられているか確認してください。
- ※金属部分を絶縁しない場合、車体側アース部分とショートしてしまい、バックランプ等の破損の原因となりますので注意してください。
- ※接続が終わった後は、リバース時に12V流れるかテスターなどで必ず確認してください。

〈例〉リバースキャンセルハーネスの接続箇所

[BMW MINI MF16S 右ハンドル]

- ・助手席側下部のスカッフプレート横の内装ゴムカバーを図の様に引っ張りながら外してください。(図1参照)
- ・内装を矢印方向に引っ張りながら外してください。(図2参照)



- ※内装はクリップでとまっている為、無理に引っ張りツメを壊さないように注意してください。

- ・ 図3の白丸部の配線の水色/灰色線に接続してください。



図3

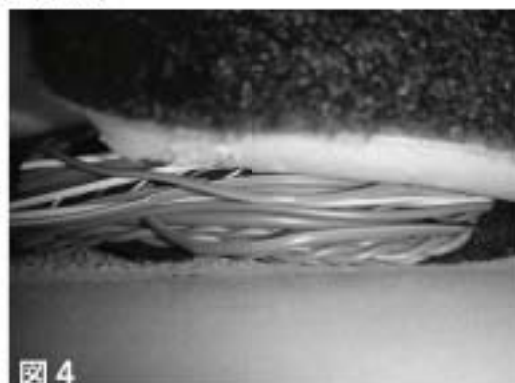


図4

※水色/灰色線は数本ある為、水色、灰色、それぞれ二色入っている一番太い線に繋げてください。

※確認のため、リバース時に+12V流れるかテスターなどで確認してください。

【BMW MINI RE16 右ハンドル】

- ・ 助手席側下部のスcaフプレート横の内装ゴムカバーを図の様に引っ張りながら外してください。（図1参照）
- ・ ヒューズボックス奥のクリップを外してください。（図2参照）



図1



図2

- ・ クリップの頭部を引っ張り、図3から図4の状態にし、クリップを取り外してください。



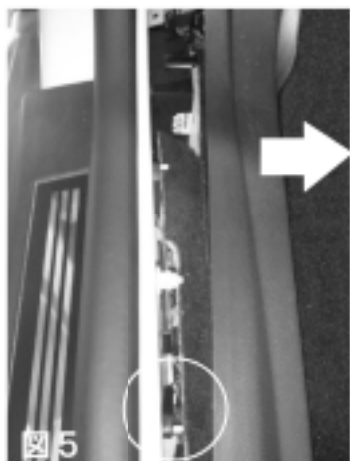
図3



図4

※クリップの頭部を引っ張らない状態のまま無理に外そうとすると、クリップのツメが割れてしまう恐れがあるので注意してください。

- ・内装を矢印方向に引っ張りながら外してください。（図5参照）
- ・コネクタが三本ありますので、一番下の白丸部コネクタに繋がっている水色/黄色線に接続してください。



※内装はクリップでとまっている為、無理に引っ張りツメを壊さないように注意してください。

※確認のため、リバース時に+12V流れるかテスターなどで確認してください。

〔VW Golf GTI 右ハンドル〕

- ・運転席下部のカバーを外してください。（図7の白丸部分にボルトが付いています）
- ・右側茶色コネクタの左上部にある矢印の黒/青線に接続してください。（図8参照）



※確認のため、リバース時に+12V流れるかテスターなどで確認してください。

(8) 動作確認

作業終了後下記要領にて作動確認をおこなってください。

- ①イグニッションキーをONにしてください。
→スタートデモンストレーションが始まりピー音と共に画面に<OFF>と表示されます。
→車両によってはキースイッチを差し込んだ時やドアを開閉した時に作動します。
- ②POWERスイッチを1回押してください。→表示が<ECO><SP1><SP2><SP3>のどれかの表示になります。
- ③UPスイッチ、DOWNスイッチにてお好みのモードに設定してください。
- ④作動ON状態→アクセルをある一定区間まで踏み込むと下図の様に表示部右下のドットが点灯します。
作動OFF状態→アイドル時などのアクセルを踏んでいない状態や少しアクセルを踏んだ状態の場合はドットが点きません。または作動ON状態のまま更に踏み込んでいくとドットが消灯します。
- ⑤作動ON状態のままギヤをリバースに入れるとドットが消えます。
- ⑥エンジンをかけてください。チェックランプなどが点かないか確認してください。
- ⑦エンジンをかけたまま、モードを<ECO>にし、表示部右下のドットが点灯するまでアクセルを踏んで下さい。点灯したら、アクセルを保持し、回転数を一定に保ってください。その状態のままOFFモードにし、回転数が低くなるか確かめてください。また、それぞれのモードにし、SP3モードに近いモードにつれ、回転数が上がっていくか確かめてください。
- ⑧イグニッションOFFにして、再度始動した場合画面は必ずOFFモードになります。これはセーフティー機能です。知らない方が運転する場合は不意の事故を防ぐ意味でエンジンを切ると必ずノーマルになるように設定しています。
この場合、POWERスイッチでONにすると前回エンジンを切る直前のモードが表示されます。



(9) モード説明

ECO

純正に比べてアクセル開度が低い領域を重点にレスポンスをUPさせます。発進特性が変わり、あまり踏み込むことなく車が動く為、街乗りを中心とした走行スタイルに適しています。

※ECOは4モードの中で最もエコノミーという意味あいです。

※TRC110はフィーリングをマイルドにするため、ノーマルより比率を下げています。



SP1

低速域より、全体的にアクセル開度・比率を純正よりひと回り大きくしています。

最も乗り易く、走り易いバランスに優れた仕様です。



SP2

SP1よりも低・中速域を約2倍の比率でコントロールします。

ワイヤ式では到底なし得ないレスポンスが体感できます。



SP3

最も過激でレスポンスが向上する仕様です。約半分のアクセル操作で全開領域に入ります。

加速感も4モード中、一番体感することができます。常に全開で走りたい方に向いています。



■製品についてのお問い合わせ

連絡先	株式会社 ブリッツ サポートセンター
所在地	〒446-0053 愛知県安城市高棚町大道40-1
TEL	0566-79-2200
FAX	0566-79-2070
URL	http://www.blitz-ag.com

■発売元

発売元	株式会社 ブリッツ
所在地	〒446-0053 愛知県安城市高棚町大道40-1
取扱説明書番号	1480103
初版作製年月日	2008年11月1日